

平成23年度「大塚初重講座」（生涯学習応援ゼミナール）はじまる！

当NPO理事長の明治大学名誉教授大塚初重先生による、平成23年度生涯学習応援ゼミナール「大塚初重講座」がはじまりました。



今回のテーマは「東国の装飾古墳」です。東国の装飾古墳については、昨年度の講座「壁画古墳の世界—高松塚、キトラ、そして虎塚」の中でも少しお話しいたしましたが、今回は大塚先生自身が発掘調査を行った茨城県の虎塚古墳を中心とした東日本の装飾古墳についてお話しいたしました。

講座では、はじめに大塚先生から東日本の装飾古墳の特徴について講義をいただき、その後はコーヒーを飲みながら、大塚先生と参加者が意見交換をする形で進められました。

講義では、東日本にある装飾古墳が今回の大震災の被災地にも多数あること、東日本の古墳に描かれた文様の特徴について、そしてなによりも、大塚先生自身が発掘調査を行った茨城県虎塚古墳の壁画発見の経緯は臨場感あふれる説明でした。

意見交換会では、「壁画古墳」と「装飾古墳」の違いはなにか？とか、東日本の装飾古墳は海岸沿いに多いようだが船の利用がこのような結果になっているのかとか？いろいろな質問がありました。

大塚先生からは、東国の古墳の場合、高松塚古墳やキトラ古墳の壁画とは違うが九州の古墳に似ていること、それに、千葉県大満横穴には線刻で描かれた船もあり、この当時船の利用はかなり進んでいたのではないかと説明もありました。

さて、次回ですが、参加者の意見なども聞きながら「九州の装飾古墳」をテーマとすることとなりました。このテーマも大塚先生の専門とするところですので、歴史書には書かれていないエピソードなども聞けるのではないかと楽しみです。



生涯学習応援ゼミナール「大塚初重講座」の今後の予定は、次回は9月24日（土）で「九州の装飾古墳」がテーマです。なお、3回目は、11月になると思いますが、大塚先生が調査をされた東日本を代表する装飾古墳「虎塚古墳」の石室の内部を見学する予定です。参加希望者は事務局までご連絡ください。